



2年後は7億円目指そうと呼び掛ける小山内部会長

ミニトマト5億円突破

～園芸生産出荷協議会ミニトマト部会祝賀会～

当JAのミニトマトの平成29年度販売額が初めて5億円を突破した。単価が安定していることに加え、当JAや行政による資材などの助成によって、29年度の作付面積は、前年度比113.8%の14畝に拡大したことが功を奏した。

当JAは収量を確保しやすい点などから、農家の所得向上につながる品目としてミニトマトを振興作物に指定。苗木やハウス資材の導入経費を一定額助成。さらに行政による支援もあり、管内では導入が進んだ。

20年合併時の販売額は1億7000万円程。県産の約5割を当JAが占め、りんごや米と組み合わせた複合経営、新規就農者の導入によって作付けが増加。29年度は前年度から14人増えて129人が作付け。面積は1.7畝増え、14畝に拡大した。

29年度の生産量は前年度より168.3ト増の814.2トで過去最多を記録。販売額は、前年度より1億3676万円増の5億7447万円となった。

当JA産ミニトマト出荷の大半を占める園芸生産出荷協議会ミニトマト部会（小山内悟部会長）は12月18日、5億円達成祝賀会を弘前市で開き、生産者や市場関係者ら約80人が出席した。

30年度は新たに約70畝増え作付けが始まる見込み。小山内部会長は「2年後は7億円を目指し、東北有数のミニトマト産地を目指そう」と呼び掛けた。

